

家庭・学校・地域の連携を深めるPTA活動

—心身ともに健康に育つよう願いを込めて—

瀬戸市立水野小学校PTA

1 はじめに

本校は瀬戸市の北西部に位置し、水野川を中心にして田畑が広がる自然豊かな地域である。西には東谷山・庄内川を境に名古屋市や春日井市に接し、東部の丘陵地には工業団地が広がる。中心部には愛知環状鉄道が南北に走り、市の中心部から春日井方面に伸びる国道155号線につながる市道水野中線がメイン道路となっている。

4月現在、校区の総人口は3525世帯9472名を数え、児童数408、学級数16（通常学級13・特別支援学級3）、世帯数314の中規模校である。



【水野小学校校舎】

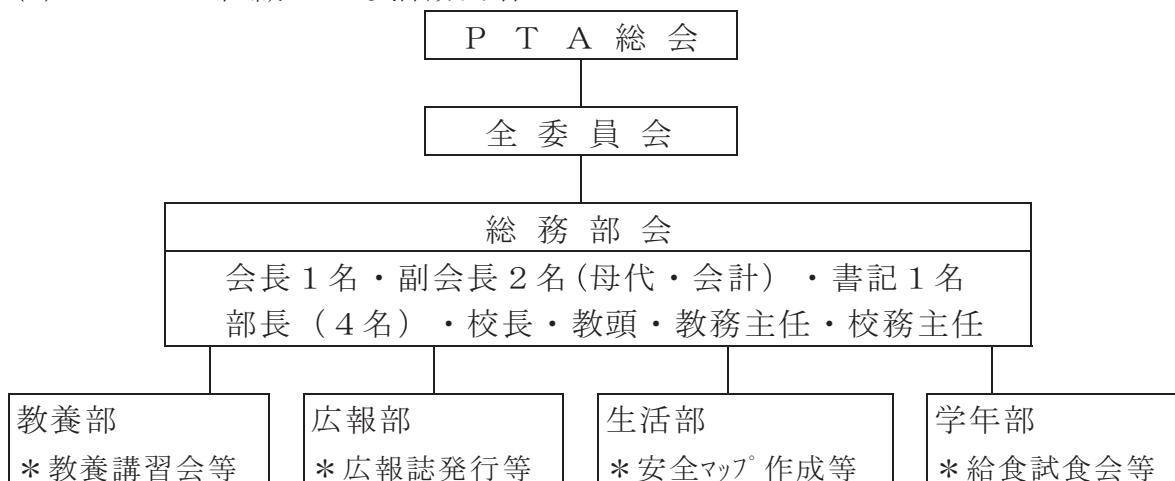
2 研究への取組

(1) 研究のねらい

子どもたちを取り巻く社会環境は年々変化している。共働きがいっそう増加し、親子のふれあう時間は少なくなっている。子どもの健全育成を目指すには、家庭・学校・地域の連携と協力が不可欠であり、保護者は「教育の原点は家庭にある」ことを自覚しなければならないと考える。

そこで、PTAが家庭・学校・地域の連携と協力を深める活動を充実し保護者としての自覚を高め、家庭の果たす役割を見つめ直し、子どもとのふれあいを深めることを中心に据え、相互の共通理解を図りながら、子どもたちが健全に成長していくことを目指して研究に取り組んだ。

(2) PTAの組織と主な活動内容



3 実践活動の概要

(1) 総務部の取組

① 読み聞かせ

子どもたちの豊かな心を育成するために、読み聞かせをしていただける方を毎年募集し、保護者や地域の方に「読み聞かせボランティア」になっていただいている。今年度は39名の方に参加していただき、学期ごとに実施される読書月間の8時30分から40分に、読み聞かせ（2週間）を行っている。学年の発達段階に応じて、楽しい本、心に染みる本を選んで取り組んでいただき、ボランティアさんの読み聞かせに、子どもたちは真剣な眼差しで聞き入っている。



【読み聞かせの様子】

② あいさつ運動

毎月第1火曜日を原則として、総務部員を中心に各部員が交代で児童玄関前に立ってあいさつ運動を行っている。また、生活広報委員の児童や教員も参加して行っている。4月には恥ずかしそうにしてなかなか声が出なかった子どもたちも、徐々に明るい表情であいさつをしてくれるようになっている。地域や家庭でも大きな声であいさつができるようになれば、保護者にもあいさつの大切さがより理解でき、家庭教育力の強化を図ることができると考える。

③ 環境整備作業

毎年8月下旬の土曜日に、校内の環境整備を目的として行っている。お盆明けの暑い時期ではあるが、地区ごとに活動場所を割り振っていることもあり、保護者同士声を掛け合いながら取り組み、子どもたちも協力することで、気持ちのよい汗を流してもらっている。また、地域の方にも早朝からご協力いただき、家庭・地域が学校やPTA活動を支えていてくれると実感している。きれいに整備された運動場で2学期を迎え、子どもたちは気持ちよく運動会練習に取り組んでいた。



【親子で環境整備作業】

④ 教育講演会

毎年5月下旬の土曜日に行っている親子学級に合わせて、保護者を対象にPTA主催の教育講演会を実施した。昨年度末に県P連から出され、全家庭に配布した「小中学生の携帯電話、スマートフォン等の適正な利用

に向けて」の取り組みに関して、具体的な内容を多くの保護者に理解してもらうことを目的に行った。体育館を会場とし、300名以上の保護者が参加し、切実な問題として講師の話に真剣に耳を傾けていた。

(2) 学年部の取組

○ 給食試食会

全校の保護者を対象にした給食試食会を毎年6月に2日間開催している。1年生の保護者がメインのため、2年生以上の保護者は有料としている。試食会の前半は、栄養教諭から学校給食に関する説明やバランスの取れた食事の話をしていただいている。今年度は「瀬戸市の給食」と題してお話を伺った。その後、各学級の配膳や食事の様子を参観し、給食の試食を行った。



【給食試食会の様子】

(3) 生活部の取組

○ 危険箇所調査と安全マップ作成

7月の一斉下校時に、生活部員（町内委員）が各町内の子どもたちと一緒に危険箇所調査や注意する場所を確認しながら下校している。また、部員が子ども110番の家を回り、プレートの破損状況を調査しながら協力の依頼をしている。それらの情報をもとに、安全マップを作成している。

(4) 広報部の取組

○ P T A新聞発行

年3回学期末に、P T A新聞「広報みずの」を発行している。子どもたちの学校での活動や行事の様子、P T A各部の紹介や各部からのお願い、お知らせ等、全体の動きを知らせるとともに、家庭教育の意識向上に関する情宣活動を行っている。広報部員が、紙面の構成、投稿の依頼、写真撮影と選定等全てを行い、美しく・楽しく・親しみやすい新聞作りを心がけている。

(5) 教養部の取組

① お楽しみ会

毎年夏休み期間中に、教養部主催の「夏休みは小学校に集まろう！」を実施している。体育館でゲームをしたり、図書室で風車やゴム鉄砲などの作品作りを行ったりしている。子どもたちが安全に作業できるように、事前に教養部員や総務部員が準備をして当日を迎



【作品作りの様子】

えている。子どもたちはこの催しを大変楽しみにしており、多くの子どもが参加している。また、役員・部員以外の会員もボランティアとして多く参加している。

② 交通安全教室

休日や下校後に自転車を利用する児童は多い。自転車の事故は、被害者になるだけでなく、ときには加害者にもなる。そこで、愛知県警察本部の交通安全教育チーム『あゆみ』の方を招き、瀬戸警察署と交通児童遊園の協力を得て、親子交通安全教室を実施した。はじめに、瀬戸警察署の方から交通安全のお話を伺い、次に『あゆみ』の方から自転車の正しい乗り方の説明を受けて、各自が持参した自転車に乗り、運動場に描かれた道路を走行した。短い時間だったが、参加者全員がとても勉強になった。

③ 救急救命講習

公共施設をはじめ多くの商業施設でもAEDが設置されている。事故などで近くにいる人に異変が起きた場合、誰でもすぐに安全確保できるようにしたい。そこで、PTA会員を対象に、瀬戸市の消防署員の方を講師に迎えて講習会を開催し、心肺蘇生法やAEDの操作等の実習を行い、万一の事故に対する心構えや対処法を学んだ。

④ 親子料理教室

日頃は忙しく、親子で一緒に料理をすることが少ないのが現状である。そこで、親子で協力して調理し、その後家庭で役立ててもらおうという狙いで、料理教室を開催した。当日は45名が参加し、手軽にできる家庭料理を教えていただいた。参加者は講師の説明を熱心に聞き、できることは子どもに任せ、大人が支援しながら楽しい雰囲気の中で調理を行い会食した。



【親子で楽しい料理作り】

4 おわりに

子どもたちの健全育成には、家庭・学校・地域の相互理解が欠かせない。子どもの健全な成長と幸せを願い、PTAとして学校の教育活動への協力を中心に、保護者のコミュニケーション強化や地域活動への協力など、様々な活動を行ってきた。早急な全家庭の教育力強化は難しいが、地道な活動を通して、「家庭教育力」を向上させ、今後も、21世紀をになう子どもたちのために活動していきたい。子どもたちにとって、将来の人生におけるよき礎となり、学校と地域を誇りに思える環境作りを心がけ、子どもたちの笑顔あふれる学校作りを支援する活動を継続していきたい。